

大使館便り

第201号 令和元年12月11日
在ポルトガル日本国大使館

1. 新美大使からのご挨拶

この度帰国の辞令を受け、12月13日にポルトガルを離れることになりました。当国在任中皆様より頂戴した御支援、御鞭撻に深く感謝申し上げます。

ポルトガルは離れますが、今後共この素晴らしい国への応援団を続けて参りたいと思っています。私の後任、牛尾 滋（うしお しげる）は12月下旬着任予定ですので、引続御厚誼の程賜りますよう、お願い申し上げます。

では皆様、どうぞ良いお年をお迎え下さい。

2. 政治・経済関係

（1）ウェブ・サミット2019の開催

11月4～7日、リスボン市東部のオリエント地区で、世界最大級のテクノロジー・スタートアップ関連イベント「ウェブ・サミット2019」が開催され、延べ160か国から7万人以上の参加者、1,200人のスピーカー、11,000人の最高経営責任者（CEO）、2,150社のスタートアップ企業、1,500人の投資家等が参加しました。4日の開会式には、シザ・ヴィエイラ経済・デジタル移行大臣及びメディーナ・リスボン市長が出席し、7日の閉会式では、レベロ・デ・ソウザ大統領が挨拶を行いました。

今般のウェブ・サミットには、富士通社が日本企業初のスポンサー出展を行った他、JETROのJ-Startupブースにおいて15社のスタートアップ企業が出展しました。

（2）2019年第3四半期失業率、6.1%に低下

11月6日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2019年第3四半期（7～9）の失業率が、6.1%（前期比0.2ポイント減；前年同期比0.6ポイント減）と発表しました。失業者数は32万3,400人（前期比1.5%減；前年同期比8.3%減）で、このうち、若年層失業率（15～24歳）は17.9%（前期比0.2ポイント減；前年同期比2.1ポイント減）で、男女別失業率では、男性が5.4%、女性が6.9%。また、地域別失業率では、アソーレス自治州（7.3%）、アレンテージョ地域（7.0%）、マデイラ自治州（6.9%）、北部地域（6.6%）及びリスボン首都圏（6.4%）がポルトガル全土平均を上回り、アルガルヴェ地域（5.3%）及び中部地域（4.8%）は平均を下回りました。

（3）レベロ・デ・ソウザ大統領のイタリア訪問

11月11～13日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、イタリアを公式訪問しました（ザカリアス外務省欧州担当副大臣同行）。11日、同大統領は、ローマのポルトガル大使公邸にて在留ポ

ルトガル人を迎えレセプションを主催した他、バチカンを公式訪問中のロウレンソ・アンゴラ大統領と会談し、アンゴラの独立44周年に祝意を表しました。12日、同大統領は、マッタレウラ伊大統領に大統領宮で迎えられた後、議会にてカセラーティ上院議長と会談した他、首相官邸でコンテ首相と会談しました。13日にはボローニャへ移動し、ボローニャ大学におけるメダル授与式に出席し、関係者及び学生に向けてスピーチを行い、メロラ・ボローニャ市長と市内を散策した後、マッタレウラ大統領主催の送別セレモニーで公式訪問を締め括りました。

(4) 最低賃金の引上げに関する政令の公表

11月21日、2020年の最低賃金を現行の600ユーロから635ユーロに引き上げる旨の政令が官報で公表されました。同政令は2020年1月1日から発効されます。

(5) フィッチ社、ポルトガル国債の信用格付を維持

11月22日、格付会社フィッチ社は、ポルトガル国債の信用格付を現在の投資適格級の「BBB」に、見通しは「ポジティブ」を維持する旨発表しました。同社は、ポルトガルの政治の安定及び政府の経済・予算政策を評価しながらも、公的及び民間セクターにおける債務が未だ高水準にある旨指摘しました。

(6) UNESCOによる「ポルトガル語の日」制定

11月25日、UNESCO本部において、コスタ首相及びポルトガル語圏諸国の代表部大使の出席を得て、UNESCOが、5月5日を「ポルトガル語の日」と定める旨宣言する式典が実施されました。コスタ首相は、今回の決定は9カ国2億6千3百万人の公用語として話される言葉の国際性が認められた結果であり、ポルトガル語がインターネットにおいては5番目に多く使われているとした上で、文化及び科学分野においてもその存在感を増している旨述べました。

(7) コスタ首相のストラスブール訪問

11月25～26日、コスタ首相は、ストラスブールを訪問しました。25日、同首相は、ガルシア社会民主進歩同盟(S&D)代表、ウェーバー欧州人民党グループ(EPP)代表、欧州刷新(RE)のチョロシュ代表と相次いで会談した後、フォン・デア・ライエン次期欧州委員長とのワーキングディナーを行いました。26日は、サッソリ欧州議会議長、ランバーツ欧州緑グループ代表、シュミット次期雇用担当欧州委員らとEU次期多年度財政枠組み(MFF)に関して意見交換を行った他、ポルトガル選出のマルケス欧州議員及びフェルナンデス欧州議員らと会談しました。

次期MFFをめぐり、欧州議会が現行の対GDP比1.16%から1.3%への各国分担金引き上げを検討しているのに対し、欧州委員会は1.11%へ、議長国であるフィンランドは1.03～1.08%への引き下げを主張しています。この状況について、コスタ首相は、ポルトガルが欧州議会の引き上げ案を支持しつつ、現行MFFと次期MFFの間の継続性が重要である旨述べています。

(8) ポルトガルが3年連続の「世界主要観光地賞」を受賞

11月28日、オマーンのマスカット市で開催された世界旅行アワード(World Travel Awards)の式典で、ポルトガルが3年連続で「世界主要観光地賞(World's Leading Destination)2019」及びリスボン市が「世界主要シティーブレイク・デスティネーション賞(World's Leading City Break Destination)2019」を受賞した他、マデイラ島は5年連続の「世界主要アイランド・デスティネーション賞(World's Leading Island Destination)2019」、Parques de Sintra(シント

ラ文化財公社)は7年連続の「世界主要文化財保全企業賞(World's Leading Conservation Company)2019」を受賞しました。

(9) 2019年第3四半期実質GDP成長率、1.9%

11月29日、ポルトガル国立統計院(INE)は、2019年第3四半期(7-9)の実質GDP成長率を前年同期比1.9%増(前期同様)と発表しました。GDP成長率のうち、内需の寄与度は個人消費の伸び及び投資の減少に伴い、前期と同様の3.2%を維持し、外需も、商品・サービスの輸入が輸出を上回ったため、寄与度は前期と同様の▲1.3%となりました。

3. 広報・文化関係

(イベント)

●石井春アズレージョ展「光と陰翳 京都からリスボンへ」の開催

リスボン水の博物館(Museu da Água)において、アズレージョ作家石井春氏による標記アズレージョ展が以下の通り開催されています。詳細は、下記URLをご参照ください。

日時:10月25日(金)~2020年1月5日(日)

会場: Museu da Água

住所: Reservatório da Mãe d'Água das Amoreiras, Praça das Amoreiras 8, 1250-020 Lisboa

受講料: 4ユーロ(施設入場料)

●「Luis Frois: First Western Accounts of Japan's Gardens, Cities and Landscapes」の出版記念セレモニー

16世紀に日本を訪れ「日本史」を著したポルトガル人、ルイス・フロイスの日本庭園に関する記述に焦点を当てた「Luis Frois: First Western Accounts of Japan's Gardens, Cities and Landscapes」の出版記念セレモニーが以下のとおり開催されます。

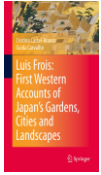
日時:12月16日(月) 18:00~

会場: Amfiteatro do Laboratório Químico do Museu Nacional de História Natural e da Ciência

住所: Rua da Escola Politécnica 56 (entrada lateral, Avenida das palmeiras), 1250-102 Lisboa

URL: www.museus.ulisboa.pt

Springer springer.com



Luis Frois: First Western Accounts of Japan's Gardens, Cities and Landscapes

C. Carmo-Branco, G. Carvalho

2020. XLIII, 342 p. 84 illus.

Printed book
 Hardcover **€ 89.99** | **£ 69.99** | **\$ 139.99**
 (Hk 420/344) | **€ 69.99** | **£ 69.99** | **\$ 139.99**
 (Hk 420/344) | **€ 69.99** | **£ 69.99** | **\$ 139.99**
 CIP 128.00

eBook
€ 49.99 | **£ 47.99** | **\$ 94.99**
 (Hk 420/344) | **€ 49.99** | **£ 47.99** | **\$ 94.99**
 Available from your library or
 springer.com/ep

MyCopy®
 Printed eBook for just
€ 15.99
 springer.com/mycopy

Special offer / Get 20% off the printed book or eBook!
 Use the following token on Springer.com
 nqkv58y8527 / Valid Dec 1, 2019 - Dec 29, 2019

Luis Frois: First Western Accounts of Japan's Gardens, Cities and Landscapes

- Gathers the first descriptions of 22 16th century Japanese gardens (unpublished until 1984) and compares with their present state
- Shares the Portuguese Renaissance accounts on Japanese gardens, cities and landscapes
- Highlights the mutual interest and peaceful Japanese encounter with the West, as reported in the Nanban Screens and in Frois's descriptions

This book focuses on Luis Frois, a 16th-century Portuguese Jesuit and chronicler, who recorded his impressions of Japanese gardens, cities and building practices, his journey trials, Japan's religious efforts, cultural traditions, and the many differences between Europe and Japan in remarkable manuscripts almost lost to time. This research also drew on other Portuguese descriptions from contemporary sources spanning the years 1543 - 1597 later validated by Japanese history and geography. Importantly, modern large-scale research has experienced a discovery prompting St. Francis Xavier to visit Japan in 1549, thus ushering in the 'Christian Century' in Japan. During this long period of contact and religious conflict, the Portuguese wrote in excess of 1,000 pages of letters to Europe, details that detail their impressions of the island nation - not to mention their observations of powerful public figures such as the Nobles, Japanese Emperors, and the nobles. In addition to examining these letters, the authors translated and researched [...]

Order online at springer.com - or for the Americas call 1-800-SPRINGER - or email us at customerservice@springer.com - The eBook for the Americas call 491-555-5555 or email us at customerservice@springer.com.

The first € price and the £ and \$ price are net prices, subject to local VAT. Prices indicated with (C) include VAT for books. The € (C) includes the 10% German VAT for books. Prices indicated with (Hk) include VAT for electronic products. 10% for Germany, 20% for Austria. All prices exclude carriage charges. Prices and other details are subject to change without notice. All errors and omissions excepted. (C) Not discount for VAT-free.

Part of **SPRINGER NATURE**

●田中紅子氏による影絵劇作品の公演

ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア市において、当地在住のアーティスト田中紅子氏による影絵劇「KASSAKO-JIZÔ (かさこじぞう)」の公演が以下のとおり行われます。公演はポルトガル語で行われます。

日時：12月21日(土) 18:00～(上演時間：約30分)

会場：Casa-Museu Teixeira Lopes /Galerias Diogo de Macedo

住所：Rua Teixeira Lopes, 32, 4430-999 Vila Nova de Gaia

入場無料

お問い合わせ：E-mail: cultural@lb.mofa.go.jp/Tel. 21-311 05 60 (大使館広報文化班)

URL: <http://www.benikotanaka.com/>

(お知らせ)

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険

情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、ポルトガル国内での転居、日本への帰国、他国への転出等、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてに E-mail にてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

（２）第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には、是非「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

（３）海外に住んでいても、国政選挙への投票が可能に！

在外投票を行うには、在外選挙人名簿に登録され、あらかじめ在外選挙人証を取得しておく必要があります。在外選挙登録申請手続きについてはこちらをご参照下さい。：
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/flow.html>

（４）在外邦人子女に対するいじめ相談窓口の設置について

文部科学省からの、補習授業校、国際学校、現地校に通う邦人子女及びその関係者の皆様へのお知らせ

<いじめ相談窓口>

公益財団法人海外子女教育振興財団 事業部 教育相談事業チーム

TEL ; + 8 1 - 3 - 4 3 3 0 - 1 3 5 2

受付時間：月～金曜日 10時～16時（日本時間）

メールアドレス：sodanjigyo@joes.or.jp

受付時間：随時

（５）当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてに E-mail にてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：consular@lb.mofa.go.jp